

理解と支援で続けられる介護と仕事の両立へ

介護と仕事の両立推進 シンポジウム



介護と仕事の両立に向けた制度や支援策、
企業の先進事例を学び、誰もが安心して働き続けられる
職場づくりを考えるシンポジウムです。
働き続けられる職場づくりと、企業の持続的な成長につながる
学びの機会として、ぜひご参加ください！

参加無料
200名
定員になり次第
締切となります。



日
時

2026年 11月17日 火
13:00-16:00

オンライン開催

シンポジウム
申込みはこちら



<https://krs.bz/kaigo-ryoritsu2026/m/form>

対 象：経営者・人事労務担当者・就業者等

基調講演 13:00-14:00

「親が元気なうちが成功のカギ」

誰でもできる仕事と介護の両立とは

介護は突然始まります。親が元気なうちに
知っておきたい備えや、家族が抱え込
まず専門職や制度を頼り、仕事を続けな
がらより良い介護環境をつくるための考
え方をお伝えします。



講師 川内 潤氏

NPO 法人となりのかいご代表理事 / 社会福祉士 / 介護支援専門員 / 介護福祉士

トークショー 15:00-16:00

「介護を支える、仕事を支える」

一人で抱え込まず、働き続けるために

介護経験者、現場の職員、両立支援の
専門家の視点から「知る・頼る・続ける」
を議論します。家族・職場・専門職が
連携し、一人で抱え込まず働き続ける
ための策を体験談から
模索します。



ゲスト 犬山 紙子氏

エッセイスト・タレント

両立支援の取組紹介 14:00-14:50

- ハウス食品グループ本社株式会社
- 株式会社ペンシル

シンポジウムの詳細は
裏面をご覧ください



申し込みに関するお問い合わせ先

介護と仕事の両立推進シンポジウム事務局

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝を除く） Mail：info@kaigo-ryoritsu2026.jp TEL：03-6409-6057

主催：東京都

後援：東京労働局、東京商工会議所、（一社）東京経営者会協会、東京都中小企業団体中央会、（一社）東京工業団体連合会、
東京都商工会連合会、日本労働組合総連合会東京都連合会、東京地方労働組合評議会、（公財）日本生産性本部、
（公財）東京都中小企業振興公社、（公財）東京しごと財団、（一社）東京中小企業家同友会、（公財）21世紀職業財団、
（独法）労働政策研究・研修機構



女性活躍の輪
Women in Action

R200

古紙・リサイクル紙100%再生紙を使用

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

参加方法 Zoom ウェビナー配信

開催日時

2026年11月17日13:00~16:00

下記のサイトまたは二次元コードから、必要事項をご入力の上申込みください。

申込みフォームにご登録いただいたメールアドレス宛に、11月上旬頃より当日の視聴用 URL を順次お送りいたします。

当日の流れ

講演資料は、開催前日までにご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。当日は、開始10分前になりましたら、事前にご案内した視聴用 URL へアクセスし、Zoom ウェビナーへご入場ください。

ご注意

- ・申込み完了メールや視聴案内メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ及び受信設定をご確認のうえ、事務局までお問合せください。
- ・通信環境の良い場所でご視聴ください。

申込みは
こちら

介護と仕事の両立推進シンポジウム申込みフォーム

<https://krs.bz/kaigo-ryoritsu2026/m/form>

※定員に達し次第、申込み受付を終了します。



登壇者プロフィール

川内 潤氏

1980年生まれ、上智大学卒。介護職等を経て2008年に「となりのかいご」を設立、現在はNPO法人化し代表理事。厚労省の委員や育児・介護休業法改正の国会参考人も務める。

犬山紙子氏

雑誌編集者を経て20代で難病の母を介護。2011年デビューのエッセイスト・タレント。自身の介護経験をもとに仕事との両立等を発信し、児童支援など多方面で活動する。

介護と仕事の両立に取り組む企業

ハウス食品グループ本社株式会社
ダイバーシティ推進部

加藤 淳子氏



株式会社ペンシル
代表取締役社長 CEO

倉橋 美佳氏



東京都では、介護と仕事の両立に取り組む企業、働くみなさんを応援しています。

一人で抱えこまずに、職場の理解や介護サービスがパズルのように組み合わせることで、誰もが自分らしく働き続けられる社会を目指します。

介護と仕事の両立支援ポータルサイト

東京都 介護と仕事の両立

検索

